

南工場建替及びび運営事業

技術提案書作成要領

令和3年10月

広島市

1. 総則

南工場建替及び運営事業 技術提案書作成要領（以下「作成要領」という。）は、広島市が公告した南工場建替及び運営事業（以下「本件事業」という。）に係る総合評価型落札方式（高度技術提案型）による一般競争入札（以下「本件入札」という。）に適用するものとし、本件入札の入札公告及び南工場建替及び運営事業 落札者決定基準（以下「落札者決定基準」という。）に基づく評価を行う技術提案書の構成、作成要領等を示す図書である。

技術提案を除く入札参加資格を有すると確認された者（以下「入札参加者」という。）は、技術提案説明会での説明、技術対話の内容及び技術提案書等作成に関する質疑等を踏まえ、これに基づく技術提案書を提出し、落札者決定基準に基づく技術評価を受けなければならない。

1-1. 基本条件

技術提案書の作成に当たっては募集要項を前提条件とする。

なお、特に指定が無い限りにおいて、広島市が入札参加者へ通知した提案者名称を使用又は記載するものとし、入札参加者の構成企業が特定又は類推できる社名及びロゴ等を使用又は記載してはならない。ただし、施工実績、機械形式等、技術提案書を作成する上で必然的に標章、商品名、技術名称及びその他固有の名称等を記載しなければならない場合は、最低限の範囲で記載すること。

提出する技術提案書のうち正本については、表紙に入札参加者の名称を付すものとし、副本については、表紙に広島市が通知した提案者名称を付すこと。

1-2. 参考資料

技術提案書の作成にあたっては以下の資料を参考とする。①及び②を格納した電子媒体（DVD-R等）を技術提案説明会の際に入札参加者へ貸与するので、技術提案書の提出時に返却すること。

- ① 過去の南工場建設工事における記録
- ② その他関連資料

1-3. 技術提案書

技術提案書は次の資料により構成する。

- ① 施設概要説明書
- ② 仕様概要説明書
- ③ 施工計画説明書
- ④ 汚染土壌処理単価及び処分量提案書
- ⑤ 運営計画概要説明書
- ⑥ 図面
- ⑦ 技術評価項目提案書

1-4. 技術提案説明会及び現場見学会の開催等

(1) 技術提案説明会

① 実施目的

ア. 募集要項の説明

募集要項のうち技術提案書の作成に必要な図書の概要について説明する他、技術提案書作成に際しての留意事項を説明する。

イ. 基礎審査項目未達の防止

様式12の1、様式12の2及び様式12-3に記載の内容について、基礎審査項目への適合状況を確認する。また、発注仕様書や要求水準書に示す条件等に関して、意見等を受け付けるものとする。

- A) 施設全体配置計画、ゾーニング計画及び敷地動線計画に関する提案（様式 12 の 1）、煙突排ガス条件及び焼却炉物質収支（様式 12 の 2）、基本フローシート（様式 12 の 3）及び意見等の内容（様式 12 の 4）に基づき、広島市と入札参加者の技術対話を行う。技術対話では、これら様式に基づき募集要項と基礎審査項目への適合状況について確認を行うものとし、入札参加者の提案や意見に対する助言及び評価は行わない。
- B) 様式 12 の 1、様式 12 の 2、様式 12 の 3 及び様式 12 の 4 のほか、後述する 2-1-2. (2) ① ア物質収支のうち「焼却炉物質収支」、及び 2-6. (2) ④ 計装フローシートのうちアとウに相当するフローシートを提出し、広島市による煙突排ガスの状態（乾きガス量、湿りガス量、温度、水分率、酸素濃度）及び基本フローシートの確認を受けること。
- C) 事業者選定の公平性と透明性を確保するため、技術対話の内容については、技術提案書等の作成に関する質疑書（様式 11 の 1 及び様式 11 の 2）への回答と併せて全ての入札参加者へ情報提供を行う。
- D) 技術対話の内容が募集要項に係るものである場合は前 C) に基づき全ての入札参加者へ情報提供するが、入札参加者固有のノウハウ、アイデア等に基づく部分については、前 C) には含めず、必要に応じて、入札参加者へ個別の回答を行う。

② 開催日時等

別途通知する日時とする（募集要項（第 2 部）配付時に通知予定）。

開始時刻の 15 分前に会場入りし、受付を済ませること。入札参加者の技術提案説明会への出席人数は最大 10 名までとする。なお、出席者は入札参加者と雇用関係にある者（社員）とし、受付では出席者全員分の名刺を提出するとともに、雇用関係にあることを証明するもの（社員証等）を持参し広島市の確認を受けること。

③ 開催場所

別途通知する場所による（募集要項（第 2 部）配付時に通知予定）。

④ 議事録の作成

技術提案説明会に参加した者は、議事録（案）を作成し、技術提案説明会開催日から一週間以内にイの提出先へ提出し、広島市の確認を受けること。

ア. 提出方法

議事録（案）を電子メールにてイの提出先に提出すること。議事録（案）についての広島市の確認の後、広島市の指示に応じて正式版を郵送にて提出すること。

イ. 提出先

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市環境局施設部工務課（本庁舎4階）

電話番号 082-504-2216（直通）

メール ka-komu@city.hiroshima.lg.jp

(2) 現場見学会

技術提案説明会終了後、現場見学会を実施する。

① 開催場所

広島市南工場（南区東雲三丁目）

② 実施内容

建設用地を見学する。ただし、技術提案説明会会場から現地への移動手段は自ら確保すること。

③ 留意事項

ヘルメット等の保護具は各自用意すること。また、見学に際しては広島市の指示に従うこと。

1-5. 技術提案書の提出

(1) 提出資料

- | | |
|--|--|
| ① 技術提案書（本編） | A4判パイプファイル綴（正1部、副4部） |
| 作成要領「1-3. 技術提案書」を構成する資料のうち、①～⑤を全て綴じるものとする。 | |
| ② 技術評価項目提案書 | A4判パイプファイル綴（正1部、副12部） |
| ③ 図面集 | 見開き A2判製本（正1部、副4部）
見開き A3判製本（正1部、副4部） |
| ④ 電子データ | CD-R 又は DVD-R（正1部、副2部） |

①～③の内容を電子ファイルで格納する。格納する図書類のファイル形式は、Microsoft® Word、Microsoft® Excel の 2013 以降の形式とする。図面は DXF 形式又は PDF 形式とする。なお、図面を PDF 形式とする場合は、線種、文字が明瞭なものになるよう配慮するものとし、CAD ファイルから PDF 変換ソフトウェアを用いて PDF ファイルを出力すること。

(2) 技術提案書の明瞭化作業・改善指示

技術提案書の審査の過程において、下記①及び②のとおり、技術提案書の明瞭化作業及び改善指示を行う。これらの手続きを行う場合を除き、技術提案書の提出後の修正、差替え、再提出又は撤回することは認めない。

① 技術提案書の明瞭化作業

技術提案書については、内容に不明瞭な点等がある場合又は広島市がその内容に疑義があるとした場合に、その技術提案に関する確認等を行うことがある。なお、確認等については、確認依頼書により確認事項を通知する。

② 技術提案書の改善指示

広島市は、技術提案の明瞭化作業の結果、技術提案書の内容が落札者決定基準に規定する「基礎審査項目」に適合していないと判断した場合又は技術提案書の内容に対し疑義、遺漏がある場合は、技術提案について改善指示を行うことがある。広島市より技術提案書の改善を指示された場合は、広島市が指示する期日までに改善後の技術提案書及び改善後の見積書を提出すること。

2. 技術提案書作成要領

技術提案書（本編）に綴じる資料及び図面は 2-1. ～2-6. によるものとし、図面集を除き①～⑧に従うこと。

- ① A4判資料は縦置き、横書き、両面印刷、A3判資料は片面印刷とする。
- ② 上下左右約 20mm 程度の余白を設定すること。ただし、図面の場合はこの限りではない。
- ③ 文字の大きさは 10.5pt とする。項目見出し、図表内の文字についてはこの限りではない。
- ④ フォントについては特に指定はしない。
- ⑤ 必要に応じてカラーを使用してもよい。
- ⑥ パイプファイルに綴じる際は項目ごとに中表紙（様式自由）とインデックスを付すこと。
- ⑦ ページ番号を記載（A4 の場合は用紙中央最下段、A3 の場合は用紙右下）すること。
- ⑧ 技術提案書（技術評価項目提案書を含む）の作成に当たっては、次のことに留意すること。

【排ガス温度と水分率に関する留意事項】

「発注仕様書 第 3 章 プラント設備工事仕様 第 5 節排ガス処理設備」に記載する「基準ごみ時において煙突出口の排ガスの水分率を 16%以下、排ガス温度を 200℃以上となるように排ガス処理設備と通風設備の構成を計画すること」に関して以下に補足する。

- ① 「基準ごみ質時において煙突出口排ガスの水分率を 16%以下、排ガス温度を 200℃以上」と指定した理由は、地域周辺での景観対策の一環として、白煙の発生を極力防止することが目的である。

- ② したがって、①と同様の白煙防止効果が得られることを条件（白煙防止限界接線図等で同等の白煙防止効果が得られること等）として、基準ごみ質時における排ガス水分率と排ガス温度を変更することを認める。
- ③ また、年間を通じて①の状態を維持することは不経済であることから、常時①の状態を維持した運転を行う必要は無く、大気状態に応じて臨機に排ガス温度と水分率を制御する運転方法を採用すること。なお、煙突部の景観に特段の配慮を要する時期は、例年の敷地周辺の大気状態を踏まえ、11月から4月までを想定している。
- ④ 基準ごみ以外のごみ質（低質ごみ、高質ごみ）における排ガス温度と水分率については、①を設計点とした上で、設備能力に応じて計画すること。

2-1. 施設概要説明書

2-1-1. 配置動線計画

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。様式は自由とするが、原則としてA4判とし、必要に応じて図面（A3判）を添付すること。

(2) 内容

① 施設全体配置図

敷地内に整備する建屋、付帯設備、外構設備等の位置について明確とした図とすること。また、施設全体配置図を簡潔に説明する説明書を添付すること。

② ゾーニング計画図

工場棟、管理棟、南環境事業所（管理事務所、収集車駐車場）、多目的利用施設等のゾーニング計画について明確とした図とすること。また、ゾーニング計画図について簡潔に説明する説明書を添付すること。

③ 敷地動線計画

敷地内の各種動線を判別できる図とすること。また、敷地内動線計画を簡潔に説明する説明書を添付すること。

ア. ごみ搬入車両動線（洗車場への動線含む）

イ. 焼却残渣（焼却灰、飛灰、鉄類等）の搬出車両動線

ウ. 用役資材の搬入車両動線

エ. メンテナンス車両動線

オ. 一般来客者車両動線

カ. 見学者、多目的利用施設の利用者、南環境事業所来所者動線

2-1-2. 施設基本設計数値

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。様式は自由とするが、原則としてA4判とし、必要に応じて図面（A3判）を添付すること。

(2) 内容

① 設計基本数値

ア. 物質収支（焼却炉：1炉1系列）

焼却炉物質収支及び給水・排水処理物質収支は、低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ、入口排ガス条件（発注仕様書表3-3の最大値及び平均値の別に。以下同様。）、季節の各ケースに対して各工程の物質収支を明らかとすること。なお、各工程のガスは、それぞれ「湿りガス量」「乾きガス量」「乾きガス中の酸素濃度」を記入するものとし、焼却灰、飛灰、固化飛灰等の焼却残渣は湿り重量、同左水分率、乾き重量を併記すること。なお、給水・排水処理物質収支は、各工程における上水、雨水、再利用水、排水の各々の流量を明らかとすること。

蒸気・復水収支は、低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ、タービン発電機設計点ごみ質、季節、運転炉数（1 炉、2 炉）の各ケースに対して各工程の物質収支を明らかとするものとし、各部の蒸気量、復水量、温度、圧力、エンタルピーを遺漏無く記入すること。

また、低負荷運転による運転計画を提案する場合は、各収支の作成に際して、低負荷運転時の収支についても提出すること。

イ. 熱収支（熱精算図、熱精算表）

低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ、季節、運転炉数（1 炉、2 炉）の各ケースに対して記載すること。

ウ. 用役収支（電力、水、燃料、薬品等）

ごみ焼却施設、管理棟及び南環境事業所等の附属建物の別に用役収支を明らかとすること。なお、ごみ焼却施設については、低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ、入口排ガス条件、季節、運転炉数（1 炉、2 炉）の各ケースに対して記載すること。電力収支については、発電量、所内必要電力量（プラント設備、建築設備への配電量、時間帯別に）、余剰電力量を記入すること。なお、用役収支に挙げる項目のうち、薬品等はその品質（相当品とする商品名称、規格等）を明記すること。

また、低負荷運転による運転計画を提案する場合は、各収支の作成に際して、低負荷運転時の収支についても提出すること。

② 計算書

ア. 火格子燃焼率、燃焼室熱負荷、燃焼室ガス滞留時間（各ごみ質について）

イ. 処理能力曲線

処理能力、処理可能ごみ質、燃料投入量の関係を図示すること。なお、計画ごみ質範囲外のごみ質についても処理能力を示すこと。

ウ. 発電設備計算書

発電設計点検討計算書、及び設計点発電効率根拠、タービン効率計算根拠資料を含むものとし、発電設計点検討計算書は、検討方法、検討の過程を明らかにすること。

エ. 熱及び温水供給設備計算書

熱及び温水供給設備の容量、機能、性能、構造等についての検討結果を示すとともに、所内利用熱量並びに各々への供給及び利用形態を示すこと。計算書は、検討方法、検討の過程を明らかにすること。

オ. 排ガス処理設備計算書

排ガス処理設備（薬品貯留槽を含む）の容量、機能、性能、構造等についての検討結果を示すとともに、各工程における有害物質の除去率、分解率の根拠とした実績値、計算過程等を示すこと。また、入口排ガス条件の別に示すこと。

カ. 排水処理設備計算書

排水処理設備（薬品貯留槽を含む）の容量、機能、性能、構造等についての検討結果を示すとともに、各工程における有害物質の除去率、分解率の根拠とした実績値、計算過程等を示すこと。また、入口排ガス条件の別に示すこと。

キ. 貯留設備計算書

ごみピット、灰ピット、及び各種貯留設備（飛灰、異物、鉄類等）の容量、構造等についての検討結果を示すとともに、発生量、かさ比重の根拠とした実績値、計算過程等を示すこと。また、入口排ガス条件の別に示すこと。

ク. 主要設備装置能力計算書

主要装置（ごみクレーン、灰クレーン、各種コンベヤ含む）の容量、機能、性能、構造等についての検討結果を示すこと。また、粉体を移送するコンベヤ類については、発生量、かさ比重の根拠とした実績値、計算過程等を示すこと。また、入口排ガス条件の別に示すこと。

ケ. 使用電力計算書

年間使用電力量の根拠となる計算書を示すこと。また、設備負荷リスト（モータリスト）を添付し、同リストには使用電力量の根拠となる装置別の負荷率・稼働率を明記するとともに、根拠とした実績値等を示すこと。

- コ. 常用防災兼用発電機容量計算書（非常用発電機負荷リスト含む）
- サ. 煙突拡散計算書

2-1-3. 施設概要説明書

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。様式は自由とするが、原則としてA4判とし、必要に応じて図面（A3判）を添付すること。

(2) 内容

① 主要プロセスの説明

主要プロセスの基本的な事項を説明するとともに、プロセスごとに指定する内容を説明すること。また、プロセスごとに図や写真等を用いて技術の特徴を取りまとめる。

ア. 受入供給プロセス

処理不適物の早期発見に向けた工夫及び排除方法、破碎処理方法、多様な処理対象物の受入に向けた工夫について取りまとめること。

イ. 燃焼プロセス

焼却炉に関する基幹的技術、燃焼温度の管理方法、排ガス滞留時間の管理方法、熱灼減量の管理方法について取りまとめること。

ウ. 排ガス冷却プロセス

熱回収率向上計画、高温腐食対策、低温腐食対策、ダイオキシン類再合成防止計画について取りまとめること。

エ. 排ガス処理プロセス

各処理工程における排ガス温度を選定した理由、排ガス処理薬剤選定理由について取りまとめること。

オ. 余熱利用プロセス

発電、熱及び温水供給、プロセス内利用に関し、熱回収率向上計画、余熱利用方法、能力算定の考え方について取りまとめること。

カ. 灰出しプロセス

焼却残渣からの異物・金属類の選別除去計画、焼却灰の含水率管理計画、各焼却残渣の排出・貯留・搬出計画について取りまとめること。

キ. 給水プロセス

用水使用量低減に関する計画について取りまとめること。

ク. 排水プロセス

ごみピット汚水処理計画、プラント排水（有機系、無機系）及び洗煙排水処理計画について取りまとめること。

ケ. その他プロセス

その他特筆すべき独自性のある計画について取りまとめること。

② 省エネルギー計画の説明

次に示す内容についての計画概要を取りまとめる。

ア. 高効率電動機計画（インバータ含む）

イ. 建築計画（省エネに資する資材等）

ウ. 建築設備計画（照明・空調・換気）

エ. その他

③ 公害防止計画の説明

次に示す内容について技術の特徴を取りまとめる。

- ア. 大気汚染防止計画
 - イ. 騒音防止計画
 - ウ. 振動防止計画
 - エ. 悪臭防止計画
 - オ. 水質汚濁防止計画
 - カ. その他
- ④ 運転条件の説明
- 次に示す内容について技術の特徴を取りまとめる。
- ア. 焼却炉の立上げ、立下げ及び定常運転時の運転制御の概要
(炉本体、ガス冷却、排ガス処理、通風、余熱利用に係る設備装置を含む)
 - イ. 立上げ立下げ時の炉の昇温・降温曲線(時間と温度の関係を示すこと。耐火物交換時の立上げ運転の曲線も提出する。)
 - ウ. ごみクレーンの自動運転の概要(必要に応じて灰クレーンも含む)
 - エ. 非常時の運転制御の概要
 - オ. 車両管制の概要
 - カ. データ処理システムの概要
- ⑤ 非常措置の説明
- 次に示す内容について、図や写真、相互関係を取りまとめること。なお、震災時や停電時等における運転方法についても取りまとめること。
- ア. リスク目録を重要度毎に示し、その対策について記述すること。
 - イ. 過去の実稼働施設において発生した事故・故障事例に対するリスクアセスメント結果を記述すること。
 - ウ. 想定される事故や機器装置トラブルの未然防止方法(フルプルーフ、フェイルセーフ及び冗長性等の考え方)について設備装置機器毎に記述すること。
 - エ. 非常時における用役資材(燃料、薬品、用水等)の備蓄計画、非常用電源確保計画等について記述すること。
- ⑥ 安全衛生対策
- 次に示す内容について取りまとめること。
- ア. 労働安全衛生対策
 - イ. 火災防止対策
 - ウ. ダイオキシン類等有害物質暴露防止対策
 - エ. その他の安全対策
- ⑦ 焼却残渣及び処理不適物の取扱い
- 処理不適物リスト(広島市が指定するものを含む)について取りまとめること。
- ⑧ 主要機器の耐用年数
 - ⑨ 予備品リスト・消耗品リスト
 - ⑩ 使用特許の一覧表
 - ⑪ メーカーリスト

2-2. 仕様概要説明書

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。指定様式(A4判)を使用するものとし、必要に応じて図面又は参考資料(A3判も可)を添付すること。なお、各様式の表紙及び記入要領は削除すること。

(2) 内容

- ① プラント機械設備仕様概要説明書（様式 13）
様式 13 に記載する内容に従い記入するものとし、必要に応じて説明資料を添付すること。
- ② 土木建築仕様概要説明書（様式 14）
様式 14 に記載する内容に従い記入するものとし、必要に応じて説明資料を添付すること。
- ③ 解体撤去工事仕様概要説明書（様式 15）
様式 15 に記載する内容に従い記入するものとし、必要に応じて説明資料を添付すること。
- ④ 土壌汚染対策工事仕様概要説明書（様式 16）
様式 16 に記載する内容に従い記入するものとし、必要に応じて説明資料を添付すること。

(3) その他

様式中の項目等について、技術提案の内容に応じて機器名称や工法等の追加・変更等が必要である場合は、本様式に倣い項目を追加の上、記入すること。

2-3. 施工計画説明書

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。様式は自由とするが、原則として A4 判とし、必要に応じて図面（A3 判）を添付すること。

(2) 内容

① 仮設工事計画

仮設設備配置計画（仮囲い、現場事務所、資材置き場、作業所、遮水壁、地下水観測井戸、仮設運土ヤード、仮設水処理設備、その他発注仕様書に指定する仮設物及び仮設設備）、仮設設備運用計画、工事資材等運搬経路、雨水・汚水対策、揚重機の種類及び配置、ガードマン・交通誘導員の配置、近隣の安全に対する措置等について取りまとめること。また、仮設工事計画には、施工の各段階における場内動線が分かるように記載すること。刈崎公園の利用計画も本計画に含めること。

② 総合施工計画

安全衛生管理体制、騒音・振動・粉じん・汚水の発生防止対策、全工事期間中の公害防止対策、山留め掘削工法・杭工法等の主要工事の施工方法、建設廃棄物の発生抑制並びに処分方法等について取りまとめること。

③ 解体撤去工事計画

解体対象物の解体撤去範囲、工事の手順、工事に必要な事前調査、解体撤去工事に関連した仮設設備の運用計画、工事の方法、安全管理方法、作業環境対策、アスベスト・除染物・解体廃棄物等のリサイクル及び処分に関する計画等を取りまとめる。計画書は、土壌汚染対策法に係る形質変更届出前に実施する範囲と形質変更届出受理後に実施する部分を明確に分けるものとし、工事全体工程において段階的に解体撤去する解体対象物があれば、その内容も記載する。また、地下構造物等の解体撤去工事については、土壌汚染対策工事施工計画書と重複する場合は、省略も可とする。

④ 土壌汚染状況調査計画

土壌汚染状況調査の対象区域・地点毎の調査位置並びに調査内容、調査項目、調査手順、進行管理、精度管理を取りまとめるとともに、全体工程を短縮・遵守するための措置等を計画する。

⑤ 土壌汚染対策工事施工計画

土壌汚染対策工事に関連した仮設設備の運用計画、作業環境対策、汚染防止計画、掘削等の土工事の工事方法、搬出対象区画の範囲、掘削した汚染土壌等の性状管理計画、運土計画、汚染土壌の埋戻し・場外搬出处分計画を取りまとめる。

また、「搬出対象区画」の計画に当たっては、発注仕様書図 6-2 に示す「おそれの比較的多い範囲」と「おそれの比較的多い配管」の位置を極力避けるよう計画すること。

- ⑥ 品質管理計画
設計、製作、施工に関する品質管理計画について取りまとめること。
- ⑦ 施工管理計画
工事現場における施工管理体制及び施工管理計画について取りまとめること。
- ⑧ 環境管理計画
地域環境保全計画、環境監視計画について取りまとめること。
- ⑨ 工程表
仮設計画、調査（地質、測量等）、実施設計、敷地造成、製作、本体工事、試運転及び試験、監督官庁への申請等を含む総合工程表を取りまとめること。
- ⑩ その他
その他、特筆すべき独自の計画があれば記載すること。

2-4. 汚染土壌処理単価及び処分量提案書

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。必要に応じて説明資料（A4判又はA3判）を添付すること。

(2) 内容

「発注仕様書 6-2-4. 工事請負代金額の変更に相当する事項」に適用する、「6-1-3. 前提とする汚染土壌の汚染レベル」に相当する汚染土壌の処理処分単価等について、以下の項目を取りまとめること。

① 汚染土壌等処理処分費及び掘削量内訳記入表（様式 17）

様式に従い汚染土壌と健全土の処理処分単価及び掘削量内訳を提案すること。また、汚染土壌の処理委託を予定する処理業者は1社とし、見積条件を明示した当該処理業者による見積書を添付すること。また、当該処理業者の会社概要（名称、所在地、許可業、処理処分施設の概要等）が分かる資料を添付すること。

② 掘削土量計算書

技術提案の内容と既存施設の配置断面を踏まえた縦横段図を作成し、掘削土量計算書を提示する。様式 17 に記入する数量との整合性に留意すること。

③ 搬出土量計算書

土工事と運土計画を踏まえて、搬出対象区画を対象とした搬出土量の計算書を提示する。様式 17 に記入する数量との整合性に留意すること。

2-5. 運営計画概要説明書

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目について取りまとめること。様式が指定されている場合は、必要に応じて説明資料（A4判又はA3判）を添付すること。

(2) 内容

次に示す項目について、指定様式がある場合は様式中の記載事項に従い記入すること。その他、指定様式が無い項目については、原則としてA4判とし、必要に応じて図面（A3判）を添付すること。なお、点検・検査計画（様式 18 の 3）、補修・更新計画（様式 18 の 4）については、運営業務期間だけでなく、運営業務期間終了後 10 年間についても作成すること。

- ① 運営管理体制（様式 18 の 1）
- ② 運転計画（様式 18 の 2）
- ③ 点検・検査計画（様式 18 の 3）
- ④ 補修・更新計画（様式 18 の 4）
- ⑤ 維持管理計画（様式 18 の 5）

- ⑥ 用役資材使用計画（様式 18 の 6）
- ⑦ 二酸化炭素排出量計算書（様式 18 の 7）

循環型社会形成推進交付金の交付要件である「一般廃棄物焼却施設における一般廃棄物処理量当たりの二酸化炭素排出量の目安」及び「施設のエネルギー使用及び熱回収に係る二酸化炭素排出量の基準」の基準達成状況についての計算書を作成する。
- ⑧ 変動費単価提案書（様式 18 の 8）

運營業務委託契約書別紙 10 に記入する変動費単価の計算式又は早見表（以下「変動費単価計算書」という。）を作成し添付すること。変動費単価は、年間ごみ搬入量の変動範囲を 72,630 t/年～88,770 t/年、ごみ質の変動範囲を計画ごみ質の範囲とし、これらの変動範囲内において 1 か月間の実績（ごみ搬入量、ごみ質）に応じて変動費単価を算出・決定するものとする。また、変動費単価の算出に適用するごみ質については、DCS 上の低位発熱量演算値の月間平均値とする。

実運営期間における変動費単価と変動費単価計算書の運用方法の詳細は運營業務委託契約書によるものとする。
- ⑨ SPC の損益計算書（様式 19）

SPC を設立する場合のみ作成すること。
- ⑩ 運転管理業務概要

「要求水準書 第 2 章第 3 節 運転管理業務」に対応した業務概要説明書とすること。なお、同「表 2-2 運転基準、要監視基準及び停止基準」については、提案内容に応じて必要な数値を記入すること。
- ⑪ 維持管理業務概要

「要求水準書 第 2 章第 4 節 維持管理業務」に対応した業務概要説明書とすること。
- ⑫ 環境管理業務概要

「要求水準書 第 2 章第 5 節 環境管理業務」に対応した業務概要説明書とすること。なお、同「表 2-5 測定項目と頻度（参考）」を参照し、測定項目及び頻度について具体的な計画表を添付すること。
- ⑬ 情報管理業務概要

「要求水準書 第 2 章第 6 節 情報管理業務」に対応した業務概要説明書とすること。
- ⑭ 防災管理業務概要

「要求水準書 第 2 章第 7 節 防災管理業務」に対応した業務概要説明書とすること。
- ⑮ その他関連業務概要

「要求水準書 第 2 章第 8 節 その他関連業務」に対応した業務概要説明書とすること。また、その他として、要求水準書 第 2 章第 9 節 広島市が実施する業務に関連して事業者が実施する業務内容を整理し記載すること。

2-6. 図面

(1) 作成要領

基本条件及び参考資料に基づいて、以下の項目の図面を作成すること。なお、図面には A2 判及び A3 判に対応した縮尺を併記すること。

(2) 内容

- ① 各階機器配置図
- ② 主要断面図
- ③ 工場棟内動線計画図（各種資機材の搬入計画含む）
- ④ 計装フローシート（系統図で代用できる場合は省略も可とする）
 - ア ごみ、空気、排ガス、灰等
 - イ 上水、雨水、再利用水

- ウ 排水（生活排水、ごみピット汚水、プラント排水、洗煙排水）
- エ ボイラ給水、蒸気、復水、純水
- オ 燃料
- カ 余熱利用
- キ その他
- ⑤ 系統図（設備を構成する装置機器とする）
 - ア 受入供給設備系統図
 - イ 燃焼設備系統図
 - ウ 燃焼ガス冷却設備（又ははボイラ給水・蒸気・復水・純水）系統図
 - エ 排ガス処理設備系統図
 - オ 余熱利用設備系統図
 - カ 通風設備系統図
 - キ 灰出し設備系統図
 - ク 給水設備系統図
 - ケ 排水処理設備系統図（ごみピット汚水、プラント排水、洗煙排水）
 - コ 用役設備系統図
 - サ 計装自動化設備系統図
 - シ I T V監視系統図
 - ス 電気設備主回路単線結線図
 - セ ボイラ各部通過排ガス温度分布図
 - ソ その他
- ⑥ 焼却炉・燃焼室・ボイラ組立断面図
- ⑦ ボイラ構造図（断面・平面、スートフロア等の機器配置含む）
- ⑧ その他主要装置の組立断面図（主要断面図で配置の説明が出来る場合は必要ない）
- ⑨ 建築概要表
 - ア. 工場棟、管理棟、計量棟、車庫棟、その他付属棟の仕様概要、外部仕上げ、各室面積表及び仕上げ表
 - イ. 槽類の構造・仕様・容積表
- ⑩ 建築パース（異なる3視点から各1葉、計3葉）
- ⑪ 全体配置計画図
- ⑫ 全体動線計画図
- ⑬ 全体動線計画図（非常時用）

占有区域が数か月間使用できない非常事態となった際の敷地内全体動線計画を図示すること。当動線により施設を運営することとなった場合、工事受注者及び業務受注者は誠意をもって協力すること。図面・計画には次のことを記入すること。なお、非常時の動線については、利便性よりも安全性を重視すること。

 - ・非常時における車両動線（通常時と異なる動線、外構設備の撤去・復旧を可とする）
 - ・誘導員の配置計画
 - ・仮設備（仮設計量機など）の種類と位置
 - ・やむを得ず搬出入車両動線が占有区域の一部を通行することは許容範囲とする
- ⑭ 見学者動線計画図

見学者動線の建物内の上下間移動は極力避けるものとし、一筆書き周回型の見学者動線が構築されることが望ましい。
- ⑮ 建築一般図（工場棟、管理棟、計量棟、車庫棟、その他付属棟とする。）
- ⑯ 建物立面図（〃）
- ⑰ 構造計画図（〃）

- ⑱ 外構計画図（道路、歩道、場内雨水排水設備、駐車場、植栽等の平面図）
- ⑲ 緑化計画図
- ⑳ その他、必要と考える図書があれば提出すること。

3. 技術評価項目提案書作成要領

3-1. 作成要領

(1) 基本的事項

技術評価項目提案書は、落札者決定基準に基づき技術評価点の採点対象とする図書であることを十分に認識して作成するものとし、技術提案書（本編）や図面集と齟齬が無いようにすること。

(2) 作成要領

- ① 技術評価項目に対応した様式 20-1～20-15 について、各様式に記載する【評価項目設定の趣旨】を十分に理解した上で、【提案内容】に沿って記入すること。
- ② 使用する用紙は A4 判縦置き、横書き、片面印刷とする（図面については A3 判も可とする）。
- ③ ページ数に制限がある場合は遵守すること。
- ④ 上下左右約 20mm 程度の余白を設定すること。
- ⑤ 文字の大きさは 10.5pt とする。項目見出し、図表内の文字についてはこの限りではない。
- ⑥ フォントについては特に指定はしない。
- ⑦ 必要に応じてカラーを使用してもよい。
- ⑧ 各様式への添付資料については、各様式に指定のあるものは指定どおりの枚数を対応した各様式の直後に綴じ込むこと。また、指定のないもので、任意で参考資料を添付する場合は各評価項目につき A4 で 2 枚以内とし、巻末にまとめて添付すること。なお、提案内容の審査において、任意で添付する参考資料を参照する必要のある提案は認めない。
- ⑨ 各指定様式の 1 枚目には中表紙（様式自由）を綴じるものとし、インデックスを付すこと。
- ⑩ 番号/総ページ数を記載（A4 の場合は用紙中央最下段、A3 の場合は用紙右下）すること。
- ⑪ 年間処理量 80,700t/年におけるごみ搬入計画は、別表 1 に基づくこと。

以 上

別表 1 日別搬入量

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	4月合計	
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火		
511.57	443.9	139.06	376.6	365.67	62.66	0	581.89	459.59	128.55	395.27	365.86	60.8	0	564.74	457.14	112.26	413.36	375.4	51.06	0	524.09	418.08	63.64	346.91	337.53	28.24	0	419.17	345.87	8348.91	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	5月合計
水	木	祝・金	祝・土	祝・日	月	対・火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
0	0	0	0	0	527.8	514.17	3.92	278.23	235.8	0.79	0	223.2	164.59	6.16	158.42	126.58	0.68	0	210.13	160.61	2.33	162.31	132.59	1.23	0	208.86	150.6	6.25	153.12	136.58	3564.95
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	6月合計	
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
2.2	0	324.92	296.96	6.53	250.46	225	0.79	0	377.13	355.73	38.33	287.74	289.36	17.54	0	305.7	278.06	3.98	259.64	241.34	1.68	0	320.92	285.23	5.14	235.01	237.52	0.73	0	4647.64	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	7月合計
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
393.05	324.81	49.87	294.53	303.4	17.13	0	329.53	289.41	3.69	237.86	239.13	1	0	340.26	351.33	52.42	340.06	282.91	13.47	0	479.26	465.44	141.34	411.87	405.55	89.43	0	565.45	470.51	134.45	7027.16
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8月合計
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	祝・日	振・月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
423.65	378.37	50.14	0	444.6	386.36	74.41	347.35	317.07	32.33	0	394.94	374.23	40.86	269	284.24	33.45	0	534.5	388.65	47.01	348.53	308.37	26.36	0	478.88	412.39	72.77	315.82	309.09	26.28	7119.65
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	9月合計	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	月		
0	496.84	477.45	76.79	377.19	363.93	14.67	0	500.72	430.79	64.45	343.62	354.09	29.47	0	387.42	409.8	58.28	377.31	356.32	19.51	0	349	367.82	76.57	377.64	325.41	27.84	0	422.63	7085.56	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	10月合計
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
404.56	70.19	335.03	364.03	38.52	0	447.66	400.86	79.35	361.28	376.36	32.61	59.24	385.21	414.4	77.66	372.56	356.29	27.64	0	435.63	313.12	97.92	358.78	409.03	36.57	0	448.18	421.38	70.78	361.57	7556.41
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	11月合計	
金	土	祝・日	振・月	火	水	対・木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
432.16	49.8	0	0	484.18	141.55	623.46	427.23	65.61	0	525.71	482.98	149.92	394.66	416.53	57.11	0	556.24	487.87	122.7	430.06	419.12	0	0	570.38	511.5	132.31	413.18	413.32	58.48	8366.06	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	12月合計
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	月	火	
0	575	539.25	143.68	433	445.9	67.37	0	581.79	534.89	142.85	445.02	448.04	31.28	0	519.23	460.66	59.31	386.29	397.91	34.22	0	528.65	507.41	82.46	406.96	453.93	31.49	0	601.1	0	8857.69
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1月合計
水	木	金	土	日	月・対	火・対	水	木	金	土	日	祝・月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
0	0	0	544.31	0	580.82	538.74	2.17	286.16	287.16	2.13	0	333.73	346.94	10.4	299.18	252.19	2.41	0	357.97	328.42	6.26	248.71	244.3	2.39	0	296.01	258.47	2.65	249.47	235.59	5716.58
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2月合計		
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝・火	水	木	対・金	土	日	月	火	水	木	金	土	祝・日	代・月	火	水	対・木	金	土			
8.54	0	382.39	319.88	60.92	285.11	341.38	313.47	142	509.77	0	89.63	285	554.49	36.44	0	393.43	325.64	49.4	290.87	287.19	17.19	0	0	339.86	65.85	550.3	289.03	18.02	5955.8		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	3月合計
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝・金	土	日	月	対・火	水	木	金	土	日	月	火	
0	408.43	338.11	65.57	293.27	282.76	21.54	0	427.96	332.58	63.13	298.29	309.73	26.03	0	411.89	337.23	48.4	321.21	0	47.14	0	428.88	547.72	59.09	314.11	284.2	23.5	0	419.97	342.83	6453.57